

第 2 5 回全国自動車整備技能競技大会選手選考会

実技競技問題指示書

支部名	支部	
氏 名		

タナカ氏から次の内容の依頼で連絡があり、整備工場に入庫した。

1. 「1 週間前から、エンジン警告灯が点灯する」という故障の修理。
2. 「昨日の朝から、エンジンが始動しない」という故障の修理。
3. 「1 年定期点検」及び「日常点検」の依頼。

添付資料・・・自動車検査証、1 年定期点検用点検整備記録簿

車両情報・・・ダイハツ ムーヴキャンバス エンジン過給機無し C V T 2WD 車

問題 1. 問題用紙の指示に従い「1 週間前から、エンジン警告灯が点灯する」という故障の修理に関する点検を実施し、点検・整備結果を 1 年定期点検用点検整備記録簿の「その他の点検・整備項目」「交換部品等」の欄に記入しなさい。

問題 2. 問題用紙の指示に従い「昨日の朝から、エンジンが始動しない」という故障の修理に関する点検を実施し、点検・整備結果を 1 年定期点検用点検整備記録簿の「その他の点検・整備項目」「交換部品等」の欄に記入しなさい。

問題 3. 問題用紙の指示に従い、問題 1 及び 2 で実施した点検整備結果について説明しなさい。また、1 年定期点検及び日常点検の結果について説明しなさい。

なお、最後に競技委員から、質問があるので答えなさい。

自動車検査証記録事項

1. 基本情報														
車両番号		省略												
車台番号		LA850S-00*****												
交付年月日		令和5年11月2日		初度検査年月		令和5年11月		有効期間の満了する日		令和8年11月1日				
2. 使用者・所有者情報														
使用者の氏名又は名称		タナカ												
使用者の住所		福岡県福岡市東区箱崎ふ頭6丁目7-16												
所有者の氏名又は名称		使用者に同じ												
所有者の住所		使用者住所に同じ												
使用の本拠の位置		使用者住所に同じ												
3. 車両詳細情報														
車名	ダイハツ													
型式	5BA-LA850S					原動機の型式	KF							
自動車の種別		軽自動車		用途		乗用		自家用・事業用の別			自家用			
車体の形状		箱型					乗車定員	4人		最大積載量		-kg		
車両重量		870 kg	車両総重量		1090 kg			長さ	339 cm	幅	147 cm		高さ	165 cm
前軸重			530 kg		後軸重			340 kg		総排気量又は定格出力			0.65 L	
燃料の種類		ガソリン			型式指定番号		20440		類別区分番号		0001			
4. 備考														
新規検査 令和12年度燃料基準80%達成車 令和2年度燃費基準102%達成車 マフラー加速騒音規制適用車 平成28年騒音規制車 騒音カテゴリM1A2A / 近接排気騒音値75dB / 測定回転数3,750rpm* (旧基準適用時測定回転数5,175rpm)* 【自動車重量税額】¥2,500 本則税率適用* 【OBD検査対象車】[OBD検査開始年月日]令和6年10月1日**														

【注意事項】

記録事項はシステム登録時点の情報となります

車両ID	*****
------	-------

自動車検査証のICタグ部分は折り曲げずに保管ください。自動車検査証の券面やICタグにき損がある場合、無効となり再交付が必要です。

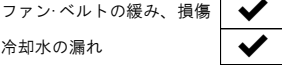
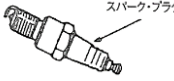
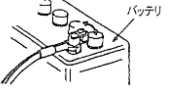
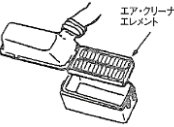
特定整備記録簿(1年定期点検用点検整備記録簿写)

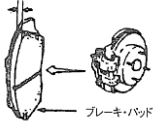
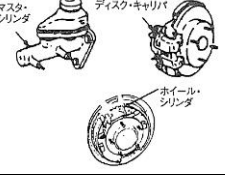
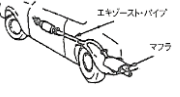
点検の結果及び整備の概要

点検良好	✓	交換	×	調整	A	清掃	C	省略	P
特定整備	○	修理	△	締付	T	給油(水)	L	該当なし	/

依頼者(使用者)の氏名又は名称 タナカ	自動車登録番号又は車両番号又は車台番号 省 略
住 所 福岡県福岡市東区箱崎ふ頭6丁目7-16	

自家用乗用車等・別表第6

エンジン・ルーム点検	
■パワー・ステアリング ベルトの緩み、損傷 	■冷却装置 ファン・ベルトの緩み、損傷 冷却水の漏れ 
室内点検	
■点火装置 ☆ スパークプラグの状態 (白金プラグ、イリジウムプラグは点検省略可) 点火時期 ディストリビュータのキャップの状態 	■ブレーキ・ペダル 遊び 踏み込んだときの床板とのすき間 ブレーキの効き具合 
■バッテリー ターミナル部の緩み、腐食 	■パーキング・ブレーキ・レバ(ペダル) 11→6 ノッチ 引きしろ(踏みしろ) パーキング・ブレーキの効き具合 
■エンジン 排ガスの色 CO、HCの濃度 ☆ エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり(損傷) 	■クラッチ・ペダル 遊び 切れたときの床板とのすき間 

足廻り点検	
■ディスク・ブレーキ ☆ ディスクとパッドとのすき間 ☆ ブレーキ・パッドの磨耗 	■ホイール フロント220→240kpa リア 210→240kpa ☆ タイヤの空気圧 ☆ タイヤの亀裂、損傷 ☆ タイヤの溝の深さ、異常磨耗 スペア・タイヤの空気圧 ☆ ナット、ボルトの緩み ■ブレーキのマスター・シリンダ、ホイールシリンダ、ディスク・キャリパ マスター・シリンダの液漏れ ホイール・シリンダの液漏れ ディスク・キャリパの液漏れ 
■ドラム・ブレーキ ☆ ドラムとライニングとのすき間 ☆ ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの磨耗 	下廻り点検
■トランスミッション、トランスファ ☆ オイルの漏れ ☆ オイルの量 	■エンジン・オイル 漏れ ■ブレーキ・ホース、パイプ 漏れ、損傷、取付状態 ■エキゾースト・パイプ、マフラ ☆ 取付の緩み、損傷、腐食 ☆ 遮熱板の取り付けの緩み、損傷、腐食 
■プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト ☆ 連結部の緩み 	

車載式故障診断装置点検	
OBD診断の結果 日常点検 ブレーキ液の量 バッテリー液の量 冷却水の量 エンジン・オイルの量 エンジンのかかり具合、異音 低速、加速の状態 ヘッドランプ、ストップ・ランプ、ウインカー等の点灯、汚れ、損傷 ウインド・ウォッシャー液の量 ウインド・ウォッシャーの噴射状態 ワイパの拭き取り状態 厳しい使われ方をした場合のメーカーの指定する点検	           
■ステアリング装置 ステアリング・ギヤ・ボックスの取付の緩み ロッド、アーム類のボールジョイントのダストブーツの亀裂、損傷 ■ブレーキ装置 ブレーキ・ディスクの磨耗、損傷 ブレーキ・ドラムの磨耗、損傷 ■サスペンション、動力伝達装置等 サスペンションノの取付部、連結部の緩み、がた、損傷 ドライブ・シャフトのユニバーサルジョイント部のダストブーツの亀裂、損傷 燃料漏れ	   

その他の点検・整備項目													
問題1 スキャンツールを用いて診断した結果、エンジンの冷却水温度を検出する① 信号系統異常の故障コードを表示。①の単体点検を実施したところ①が② し、エンジン警告灯が点灯していました。①を交換し、エンジン警告灯が点灯しなくなったことを確認しましたのでご安心ください。													
問題2 スキャンツールを用いて診断した結果、イグニッション・コイルに③ を供給する④ の⑤ により、イグニッション・コイルが作動不良となりエンジンが始動しなくなっていました。④を修復しエンジンが正常に始動することを確認しましたのでご安心ください。													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>交換部品等</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エンジン・オイル</td> <td>3.3ℓ</td> </tr> <tr> <td>オイル・フィルタ</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>ウインド・ウォッシャー液</td> <td>0.5ℓ</td> </tr> <tr> <td>エア・クリーナ・エレメント</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>1個</td> </tr> </tbody> </table>	交換部品等	数量	エンジン・オイル	3.3ℓ	オイル・フィルタ	1個	ウインド・ウォッシャー液	0.5ℓ	エア・クリーナ・エレメント	1個	①	1個	
交換部品等	数量												
エンジン・オイル	3.3ℓ												
オイル・フィルタ	1個												
ウインド・ウォッシャー液	0.5ℓ												
エア・クリーナ・エレメント	1個												
①	1個												
メンテナンスに関するアドバイス 月に一度のタイヤ空気圧チェックをお勧めします。													

注 一年間保存。

●CO、HC濃度 (アイドリング時)		●タイヤの溝の深さ (1.6mm以上)		前輪 左 4.6 mm 右 4.5 mm	
				後輪 左 6.2 mm 右 6.1 mm	
CO	0.1 %	●ブレーキ・パッド、 ライニングの厚さ		前輪 左 4.7 mm 右 4.4 mm	
HC	10 ppm			後輪 左 2.6 mm 右 2.4 mm	

事業場名、所在地、認証番号

省 略

点検年月日

令和7年11月2日

整備完了年月日

令和7年11月2日

整備主任者の氏名

省 略

点検(整備)時の走行距離

20,000 km

使用者用

【 問 題 用 紙 】

支部名	支部
氏 名	

問題 1 単体競技

〔 問 題 〕 「1週間前からエンジン警告灯が点灯する」という修理依頼について、スキャンツールを使用しDTC（ダイアグノーシス・トラブル・コード）を確認すると、「P0115」を表示した次の各問について答えなさい。

問1. FAINES（ファイネス）を活用し、ダイアグノーシス・コード診断内容を表示しなさい。また、診断内容を記入しなさい。

DTC	診断内容
P0115	

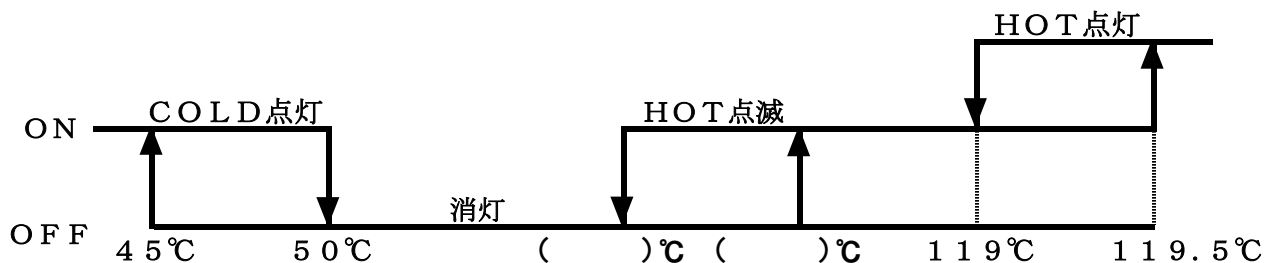
問2. 問1の結果より、FAINES（ファイネス）を活用し、点検内容を表示し内部抵抗基準値を記入しなさい
また、内部抵抗点検を指定された端子で行い良否判定しなさい。
なお、再現テストの結果、故障は継続している状態です。

基準値		kΩ (20℃時)
-----	--	-----------

測定値	(1) 2～1間	Ω
-----	----------	---

判 定	良 ・ 否
-----	-------

問3. FAINES（ファイネス）の新型車解説書を活用して、高水温ウォーニング・ランプの表示について「高水温／低水温」の解説を表示させなさい。また、下記の（ ）内に数値を記入しなさい。



問4. 問1、問2の結果により、不具合部品名とその不具合状態を1年定期点検用点検整備記録簿の「その他の点検・整備項目」欄の①②及び「交換部品等」の記入をしなさい。

【 問 題 用 紙 】

支部名	支部
氏 名	

問題 2 現車による故障診断

※問 1、3 のイグニッション・スイッチ操作は、選手が乗車して実施すること。
※問題は問 1 から問 5 の順に実施して下さい。

〔 問 題 〕 ここにある車両について、次の各問に答えなさい。

不具合現象：昨日の朝から、エンジンが始動しない。

問 1. 不具合現象を確認しなさい。現象確認後スキャンツールを使用し、エンジン（E F I）の D T C（ダイアグノーシス・トラブル・コード）の有無を確認しなさい。有の場合はコード番号のみを記入しなさい。

自己診断コード (どちらかに○を付けなさい)	有	無
有の場合のコード番号	P	

※上記記入後、結果を競技委員に報告しなさい。

問 2. 競技委員より渡された資料をもとに F A I N E S（ファイネス）を活用し、点検内容を表示しなさい。

問 3. 競技委員より渡された資料をもとに、現車で①～⑤の電圧をチェック・ボックスに表示しているアースを基準に測定し測定値は小数点以下を切り捨て、下表に記入しなさい。①～⑤の電圧測定は、台上のチェック・ボックスで行うこと。また、①～⑤で測定した電圧のうち異常である箇所には○印を記入しなさい。

※イグニッション・スイッチ操作は、選手が乗車して実施すること。

イグニッション・スイッチON時の電圧				
①	②	③	④	⑤
V	V	V	V	V

異常電圧箇所 (いずれかに○印を付けなさい)								
①	・	②	・	③	・	④	・	⑤

問 4. 問 3 の点検結果より考えられる不具合箇所を記入し競技委員に報告後、指示に従い修復を確認してエンジンを始動しなさい。

エンジンが正常に始動できた時は、吹き上がりが良いかアクセルを踏んで3回空吹きをしを確認し、確認後ただちに「作業終了しました」と競技委員に申告しなさい。

不具合箇所

問 5. 不具合箇所とその不具合状態を、1 年定期点検用点検整備記録簿の「その他の点検・整備項目」欄③④⑤の記入をしなさい。

【 問 題 用 紙 】

支部名	支部
氏 名	

問題3 アドバイザー

タナカ氏から依頼された全ての作業が完了し連絡をしたところ、徒歩でご来店された。

問1. 接客応対後、今回の作業内容について説明しなさい。

注1：「エンジン・オイル」「オイル・フィルタ」については、タナカ氏からの依頼で交換を行った。

注2：故障修理での部品交換は、タナカ氏に連絡して了承を得てから行った。

注3：1年定期点検及び日常点検の説明については、調整又は測定数値のある項目を説明し、
点検の結果良好であった項目については「その他の項目については異常ありませんでした」
など一括説明してよい。

また、競技の都合上、以下のとおり留意して下さい。

- ① 1年定期点検用点検整備記録簿は、競技委員に向けて説明する必要はない。
- ② 1年定期点検用点検整備記録簿には、必要事項を書き込んでもよい。
- ③ 整備保証の適用及び整備料金の説明は、行わなくてよい。

※なお、問1の説明が終了したら「他にご不明な点はございますか。」と伝えてください。それにより
問2に移行します。

問2. タナカ氏より「訪問特定整備制度」と「自動車整備士制度」についての質問があるので答えなさい。

※なお、問2の説明が終了したら起立し「本日はご来店頂きありがとうございました。」と伝えてください。
それによりアドバイザー競技を終了します。

メモ用紙